

自己適合宣言書番号	APS0001	附属書番号	APF0124
発行者の名称	YKK AP株式会社		
作成日	2020年3月31日	改訂日	
商品	APW430防火窓		
仕様	アングル付、アングル無(アングル付同等納まり)		
窓種	・FIX窓		

<p>■本附属書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。</li> <li>記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。</li> <li>修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新の情報をご参照ください。</li> </ul> <p>■開口部の熱貫流率について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験値は、JIS A 4710に基づく試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。</li> <li>計算値は、JIS A 2102-1に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により計算された代表試験体の熱貫流率です。</li> <li>建具とガラスの組合せは、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づく建具とガラスの組合せによる開口部の熱貫流率です。</li> <li>代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「窓、ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲に定める基準」に基づき選定したものです。</li> </ul> <p>■開口部の日射熱取得率について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づき、JIS R 3106に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により算定されたガラスの日射熱取得率の値を用いて枠の影響を考慮した開口部の日射熱取得率です。</li> <li>当社ホームページ内「①建具とガラスの組合せ、開口部の熱貫流率・日射熱取得率」の値もご使用いただけます。</li> </ul>
---

■ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率

		アルゴンガス入り (アルミスペーサー仕様)			
		耐熱強化			
		透明	すり		
		JNP3	JPP3	JQP3	
ガラス構成	室外ガラス厚	3	3	4	
	中空層厚	15	15	14	
	中間ガラス厚	耐5	耐5	耐6	
	中空層厚	15	15	14	
	室内ガラス厚	3	3	3	
熱貫流率区分	ダブル Low-E	日射遮蔽型ニュートラル	①	①	①
		日射遮蔽型ブルー	①	①	①
		日射遮蔽型ブロンズ	①	①	①
日射熱取得率	ダブル Low-E	日射遮蔽型ニュートラル	0.34	0.34	0.33
		日射遮蔽型ブルー	0.21	0.21	0.21
		日射遮蔽型ブロンズ	0.22	0.22	0.22

・熱貫流率は開口部の熱貫流率 性能一覧を参照ください。

・サイズによりガラスの対応可否が異なるため、必ず右表「サイズごとのガラス種類」を確認ください。

■サイズごとのガラス種類

	アルゴンガス入り (アルミスペーサー仕様)	
	耐熱強化	
	透明	すり
窓(H≤1392)	Low-E3+G15+透明5+G15+Low-E3	Low-E3+G15+すり5+G15+Low-E3
テラス(1392<H)	Low-E3+G15+透明5+G15+Low-E3	Low-E4+G14+すり6+G14+Low-E3

■開口部の熱貫流率 性能一覧

アルミスペーサー仕様									
区分記号	ガラス中央部の熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]		開口部の熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]				試験値	計算値	建具とガラスの組合せ
	付属部材無し	シャッター又は雨戸あり	※障子あり	風除室あり					
①	0.67	以下	0.96	0.92	0.89	0.88	○		

※障子は和障子などを示す。